

飯伊 産業経済動向

No.484 2019/7
(元. 8. 25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
地域サポート部
しんきん南信州地域研究所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,633 枚	40.8 %	△ 6.0 %
	金額	4,789,801 千円	16.0 %	5.6 %
うち不渡発生状況	枚数	2 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)
	金額	292 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	5 件	(前月 3 件)	(前年同月 10 件)
	飯伊	0 件	(前月 1 件)	(前年同月 1 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(6月)		57 戸	△ 5.6 %	7.5 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(6月)		1.40 倍	(前月 1.31 倍)	(前年同月 1.62 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,733 台	3.4 %	22.6 %
	中古車	800 台	4.0 %	29.7 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (6月)	新車	4,320 台	9.6 %	2.1 %
	中古車	1,059 台	△ 11.8 %	4.5 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	115,626 台	7.8 %	0.2 %
	出	117,649 台	8.4 %	0.6 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	79,144 台	6.3 %	△ 2.5 %
	出	75,796 台	4.8 %	△ 3.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	12,859 台	△ 12.8 %	△ 25.0 %
	出	13,231 台	△ 9.8 %	△ 21.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	40,822 台	9.6 %	△ 6.6 %
	出	40,035 台	11.4 %	△ 13.3 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		163 件	23.5 %	12.4 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		3 件	(前月 16 件)	(前年同月 6 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	26,294 人	6.6 %	0.5 %
	飯田～名古屋	18,357 人	7.2 %	7.3 %
	飯田～長野	9,422 人	0.8 %	△ 1.5 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	21,589 人	7.5 %	- %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,776 人	7.7 %	14.8 %
	右回り	3,625 人	3.2 %	2.1 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性油型インキ
[リチウム]100%を使用しました。

再生紙を
使用しています

概 況

製造業

7月の製造業の業況判断指数(DI)は、製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス26.9で、前月から13.1ポイント上昇。翌月予測はマイナス40.0で、前月から9.2ポイント下降している。

電気、精密機械器具の受注は、前月比やや減少～概ね横ばい。一部に景況感が悪化した業者も。半導体、液晶製造装置向け部品の受注は、前月比減少～横ばい。「米中貿易摩擦の影響が長期化し、設備投資の後ろ倒し本格化」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も見られる。産業機器や医療機器向け部品の受注の前月比は、業者により増減分かれる。建築用金属製品の受注は、前月比横ばいも、前年比やや増加との声。自動車向け部品の販売は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。小型電磁機器の販売は、前月比やや減少。景況感も悪化との声。先行きも弱含みという。FA関連モーターの受注は、前月比概ね横ばい、前年比やや減少。先行きも弱含みという。光学機器部品の生産は、前年比やや減少との声。電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、景況感も悪化との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比、前年比ともやや増加。景況感も概ね好転している。水引製品の販売の前月比は、やや減少との声が多い。一部に前年比はやや増加との声。「今月の売れ筋」である盆用品の販売に関し、「風習の変化の影響を注視」「順調に推移」などの声が寄せられた。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや増加との声。

建設業

7月の建設業の景況DIはマイナス8.3で、前月から16.6ポイント下降。翌月予測DIは0.0で、前月から8.3ポイント上昇。

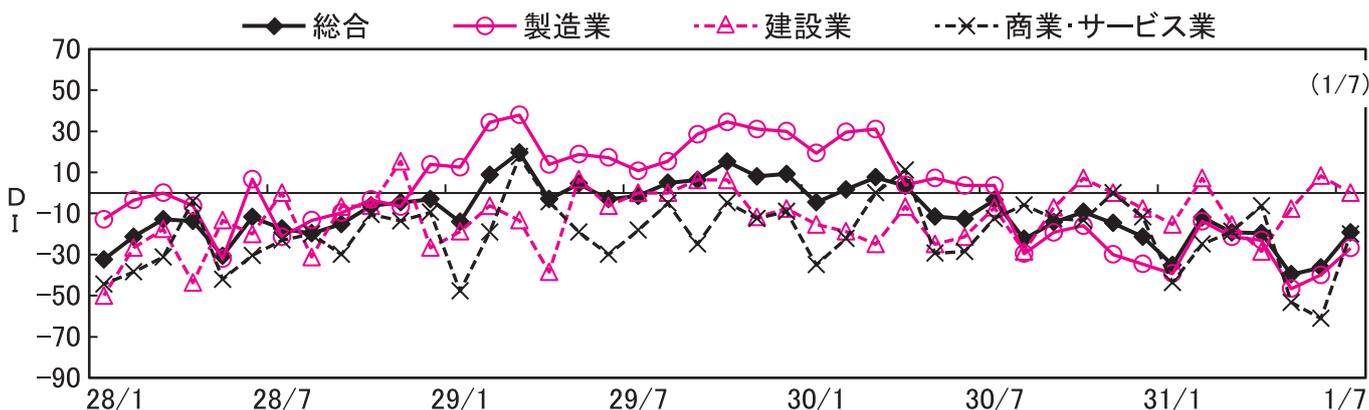
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約32.4億円、前月比9%増加、前年比も180%増加している(8月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高は、村部の業者を中心に、やや減少ないしは「最低限の受注はあるが、大型物件は災害工事などの発注が未定」などの声も聞かれたが、増加との声が多数を占める。

当地区の当地区の6月の住宅着工戸数は57戸。前月比6%減少も、前年比は8%増加。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「大きな動きはない」など、総じて景況感に動きは見られない。

商業・サービス業

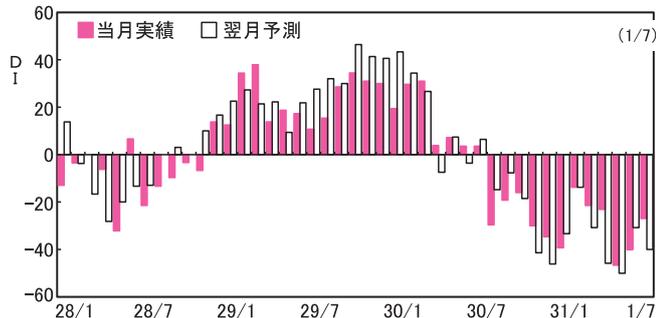
7月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス20.0と、前月より41.1ポイント上昇。翌月予測DIは、0.0で、前月より36.8ポイント上昇している。食料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。青果卸売市場の販売は、前月比、前年比ともやや減少という。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感が好転するには至らないとの声。電化製品の売上は、前月比、前年比ともやや減少との声。OA機器の売上は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。衣料品の売上の前年比は、業者により増減分かれるが、景況感に大きな動きは見られない。土産物の売上は、前月比横ばい、景況感にも動きは見られない。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比3%増加、前年比も23%増加。6月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比10%増加、前年比も2%増加。市内料理店の売上の前年比は、業者により増減分かれる。昼神温泉の売上は前年比やや減少。「夏休みに入り徐々に賑やかさが出たが、月前半が非常に静かだった」などの声が寄せられた。タクシーの売上は、前月比増加も、前年比はやや減少との声。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月実績DI	-26.9	(前月 -40.0)
翌月予測DI	-40.0	(前月 -30.8)

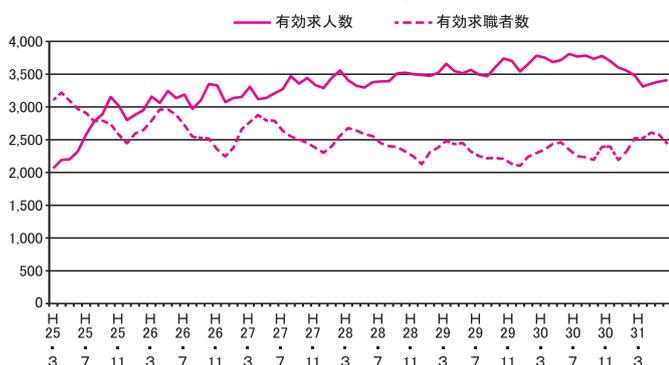
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス26.9で、前月から13.1ポイント上昇。翌月予測はマイナス40.0で、前月から9.2ポイント下降している。

飯伊地区の職業安定統計

本誌後述の通り、ハローワーク飯田管内の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.40となっており、依然1を上回っている。

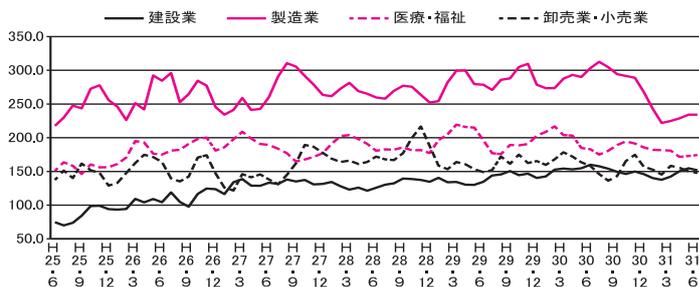
月間有効求人倍率は、ご案内の通り、月間有効求人数を月間有効求職者数で除したものである。そこでハローワーク飯田管内の月間有効求職者数、月間有効求人数の推移を見て見ると、月間有効求人数は平成25年後半3,000人を超え、平成29年初め比から3,500人を超える月が多くなった。一方、月間有効求職者数は、平成28年半ばから2,500人を下回って推移している。こうしてみると、月間有効求人数が高水準で推移し、一方で月間有効求職者数が漸減的に減少していたために、月間有効求人倍率が高水準で推移していたものと思われる。

月間有効求人数・月間有効求職者数の推移 (ハローワーク飯田管内)



ところで、月間有効求人数とは、前月から繰越された有効求人数（前月末日現在において、求人票の有効期限が翌月以降にまたがっている未充足の求人数をいう。）と、当月の「新規求人数」の合計数のことで、「新規求人数」とは、期間中に新たに受け付けた求人数（採用予定人員）をいう。これは景気の先行指数としても使われる。そこでハローワーク飯田管内で、平成25以降の新規求人数の多い4業種について、推移を3か月移動平均で見ると、平成26年初め頃から250～

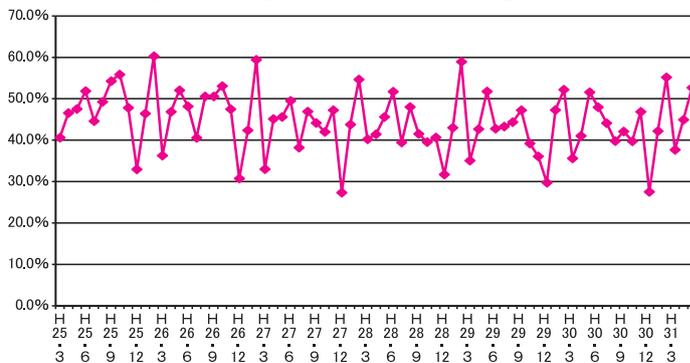
ハローワーク飯田管内 業種別 新規求人数の推移 (3か月移動平均)



300人の水準で推移していた製造業の新規求人数が、平成31年の1月以降概ね250人を割り込んでいる。また、建設業では、振幅は大きくないものの、趨勢的に増加傾向にあるように思われる。

職業安定統計では、有効求職者が安定所の紹介により就職したことを確認した件数を就職件数としてカウントしている。そこで新規求職者の内、どのくらいが就職に結びついたかを見ることで、雇用のミスマッチを見る指標とすることが多い。そこで、ハローワーク飯田管内の、就職率（就職件数/新規求人数）の推移をみると、平成25年以降、30%から60%の間で安定しており、大きな逸脱は見られないと言えるのではないかと。長野県全体の平成29年度の就職率は17%程度で、それに比べればハローワーク飯田管内の就職率は高く、ハローワークを介した就職件数が比較的多いと思われるが、雇用のミスマッチは、平成25年以降、悪化してもいないし、かといって好転しているとも言えないように思われる。

就職率の推移（ハローワーク飯田管内）



機械加工製造業

電気、精密機械器具の受注は、前月比やや減少～概ね横ばい。一部に景況感が悪化した業者も。当月、原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかった様子。一部に「人員が不足。派遣社員で対応中」との声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注は、前月比減少～横ばい。依然「米中貿易摩擦の影響が長期化し、設備投資の後ろ倒し本格化」「一部製品は引き続き好調」「FPD関連は減少」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も見られる。一部に先行き上含みとの声が聞かれ、こうした業者では人員不足が見込まれるという。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。

産業機器や医療機器向け部品の受注の前月比は、業者により増減分かれる。「海外の在庫調整が終了し、動きが出てきた」といった声の一方、「見積案件は減少。低価格化も進行している」などの声も。先行きは、弱含みと見る声が多い。こうした中、「短納期対応が重要になってきている」との声が寄せられた。

当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では、現状維持との声が多いが、「複数名入社。募集を続ける」「複数名応募があり、面接を行った。内部を固めていきたい」などの声も。設備面で積極的な声は多くはないが、「次月以降に更新」などの声も。「良い業界もあれば、悪い業界もある」など業況がまだらになっているとの声が寄せられた。

建築用金属製品の受注は、前月比横ばいも、前年比やや増加との声。「引き続き順調。東京オリンピック関連他、都内の物件で当面多忙」「防災関係製品の展開が順調」などの声。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

自動車向け部品の販売は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。先行きにも大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の販売は、前月比やや減少。景況感悪化との声。先行きも弱含みという。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。設備面で積極的な声が聞かれた。

FA関連モーターの受注は、前月比概ね横ばい、前年比やや減少。「産業機械向けが減少で推移」「米中貿易摩擦の影響が国内で出ており、今後不透明」など、先行きも弱含みという。

光学機器部品の生産は、前年比やや減少、景況感悪化との声。雇用面で不足感があるという。

電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、景況感悪化との声が寄せられた。雇用面で不足感があるという。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比、前年比ともやや増加。「お盆休み前の受注が7月末だったため受注の前月比は減少しているが、前年比は増加」「お盆前需要の前倒しで忙しかった。休み明けの荷動きが心配」「同業他社では製造メーカーは順調」など景況感も概ね好転している。「菓子全体で見た割合が小さいため目立たないが、半生のカテゴリは、年配者の増加や和菓子への引合いが高まって売り場が広がってきており、伸びている」という。「段ボール、運賃に加え、生あん、種菓子の値上げがありそう」など原材料、資材価格が上昇との声が複数。こうした中、「値上げをお願いしているが、厳しい」との声も。一部に「補充するも不足気味。増員を予定」との声が聞かれた。

水引製品の販売の前月比は、やや減少との声が多い。一部に前年比はやや増加との声。「夏場を迎え業況は概ね低調」「お正月用品の受注は好調」といった声のほか、「今月の売れ筋」の盆用品の販売に関し、「風習の変化の影響を注視」「順調に推移」などの声が寄せられた。原材料、資材価格が上昇基調にあるという。「業界全体で宣伝に注力していく必要を強く感じる」「長野県デザイン振興協会による『信州デザインコン

ペ』で飯田水引水引のアクセサリが課題となり、飯田水引協同組合も協力する。もっとPRして多数の応募で盛り上がることを期待」などの声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや増加との声。「梅雨明けが昨年より遅く、昨年とは売れている品目が違っている感」という。原材料に関し、「状況は落ち着いているが、今後の天候が気になる」との声が寄せられた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比減少との声。当月、原材料、資材価格が上昇したという。

印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比ともやや増加も、「前年があまり良くなかったので前年同月比は増加したが、例年並みの売上」との声が寄せられた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。設備面で積極的な声。

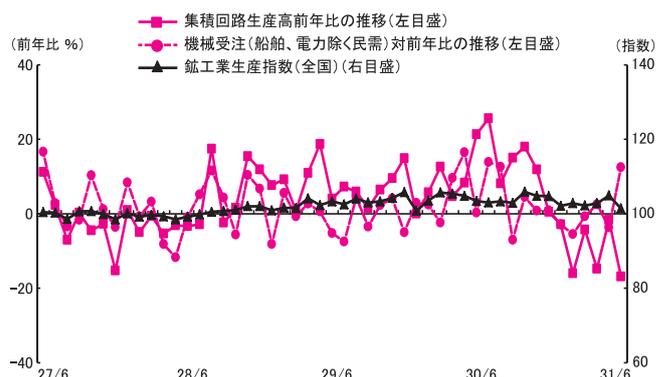
衣料品の受注は、前月比、前年比ともやや増加との声。「当月小売は大変だった。天候のせいとばかりは言えないが、7月は気温が低すぎ盛夏物が全く売れず、バーゲン時期に雨が降り続き、気温が上昇した下旬はセール品が売れるだけで収益にならない。セールを遅らせるなどの方策がないと、業界全体が成り立たなくなるのでは」「メンズが少し盛り返した感。夏が暑くなりクールビズも大きな要因だが、サスティナブル・ファッション、ベーシックへの回帰なども原因」などの声が聞かれた。依然人員不足が続いている様子。

住宅機器、オフィス家具、店舗用什器等家具の生産は、前月比増加も、前年比はやや減少、「非常に悪い状態が続いている。仕事がないところもあれば、あってもデフレの進行で利益が出ないとの声も聞かれる」「冷夏、米中、日韓関係等々、問題山積で景気が良くなる兆しはない。円高基調が追い打ちを掛けそう」など、景況感悪化との声が寄せられた。当月原材料、資材価格に大きな動きはなかったという。雇用面で「目下不足気味だが、受注状況を注視しながら対応」との声。

【企業からのコメント】

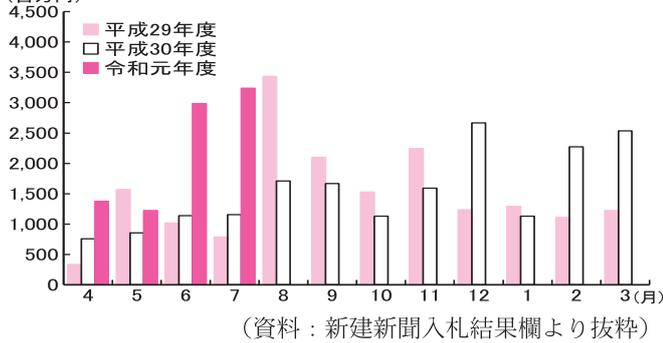
- ★アメリカの政策の影響で、近年では最悪の状態との声もある。何もできない日本は景気の煽りを受けるだけだが、致し方ないのか。
- ★官庁などでは、小ロット品を内製化しても、業務に支障が出て非効率との声も聞く。必ずしも経費節減につながらないこともあるのでは。
- ★韓国向けの輸出が止まってしまった。

集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -8.3 (前月 8.3)

翌月予測DI 0.0 (前月 -8.3)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約32.4億円、前月比9%増加、前年比も180%増加している(8月15日調査時点)。「国では、三遠南信自動車道関連工事、防災、減災土木工事が発注になり工事量は前年並。県も防災、減災の法面、舗装工事が発注。市町村でも減災、防災工事が発注になった」という。

当月の調査先企業の受注残高は、村部の業者を中心に、やや減少ないしは「最低限の受注はあるが、大型物件は災害工事などの発注が未定」などの声も聞かれたが、増加との声が多数を占める。「受注残高は昨年より多少伸びた」「受注は予定より増加」「やりきれないほど仕事がある状態」「学校施設の空調設備工事は小学校が終わり、中学校のものが発注になっている」との声。

こうした中、「人手が足りない」「不調、不落工事が散見される。人手不足、技術者不足があるのでは」「お盆過ぎから多忙になりそうだが、技術者不足はもちろん、今後はガードマン、ダンプ、法面工事業者などの不足が予想される」といった声は多い。

先行きも受注の増加を見込む声は多いが、「同札くじ引きが毎回続いている。運を天に任せる状況は厳しい」「受発注はこれから進むだろうが、発注時期は工期にもかかわるので早期発注を望んでいる」などの声が聞かれた。

資材等に関し、当月大きな動きはなかったとの声が多いが、「鉄製品」などで値上がり傾向にあるとの声も聞かれた。

民需

当地区の6月の住宅着工戸数は57戸。前月比6%減少も、前年比は8%増加。

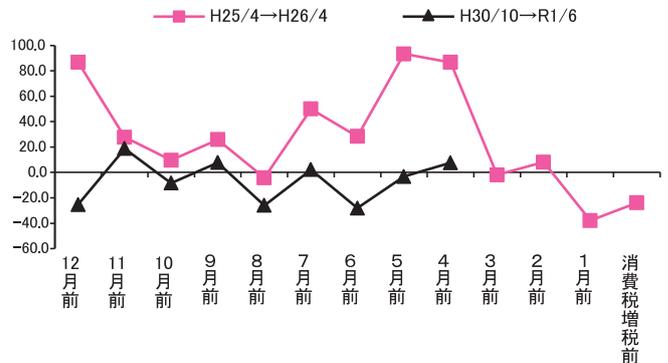
当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「リフォームなど改修工事中心で動きはない」「大きな動きはない」「民間工事受注が複数」などの声が聞かれ、総じて景況感に動きは見られない。雇用面で「営業を特に必要としている」「現状の不足が解消しない」などの声が聞かれた。

消費増税前の住宅着工戸数の推移

次のグラフは、前回平成26年4月の消費増税時、直

近1年間の住宅着工戸数の前年比の推移と、平成30年10月～令和元年6月までの住宅着工戸数の前年比の推移を表したものである。これを見ると、前回増税時は、増税の5、6か月前に前年比の大幅な上昇が見られたが、今回は目下のところ大きな上昇は見られない。

住宅着工戸数前年比の推移



建設資材

建設資材等の売上は、前月比、前年比ともに概ね横ばいとの声。仕入価格が上昇基調にあるという。

鋼材の売上は、前月比増加、前年比概ね横ばい、「最悪に近かった先月に比べればややマシといった言ったところで、低調であることに変わりはない」などの声が寄せられた。先行きに関し、「景気を引っ張ってくれる業種もなく、回復の兆しが見えない。去年は5～8月が減退期だったが、今年はどうなるか。消費増税が控えているし、不安が増す」など不透明感を指摘する声。鋼材価格は、「全体では横ばい。流通量が少なく、様子見の状態」という。

生コンの売上は、地域により「発注は前年度より多いが、生コンをさほど使用しない工事もあり、未だ動きがない」など前月比、前年比とも減少との声もあるが、前月比概ね横ばい～やや増加、前年比も増加との声が多い。「主な出荷は、三遠南信自動車道工事、砂防堰堤工事、保育園、工場増改築工事、発電所工事に関わるもの」という。「リニア関連工事の出荷量は前月とほぼ同じで、当月出荷量の5%弱」という。

骨材の売上は、前月比、前年比とも増加も、景況感の好転には至らない様子。

【企業からのコメント】

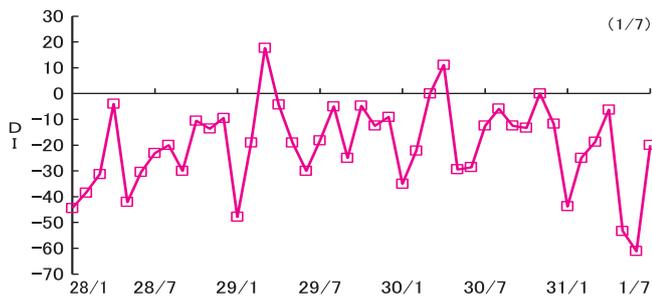
- ★地元業者に仕事はある。ただ、忙しいという感じがしない。
- ★ウィンドウズ7のサポート期間終了に伴い、パソコンの入れ替えを検討し始めている。
- ★生コン、骨材、アスファルト合材の出荷量は少ないと聞いている。

住宅建築確認申請受付状況 (※本誌調査による概数)

7月	
○飯田建設事務所分	
新築	11件 (前年 12件)
増築	4件 (前年 8件)
○飯田市役所分	
新築	22件 (前年 22件)
増築	2件 (前年 0件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-20.0 (先月 -61.1)
翌月予測DI	0.0 (先月 -36.8)

商業

食品品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。「後半から気温の上昇と共に夏物の動きが良くなってきた」「客数の減少、天候不順もあって売上は伸び悩んだ。将来不安もあって消費マインドは落ちている」など景況感に分かれる。「長雨、日照不足による野菜の品不足」や「食品全般にメーカー値上げ」といった事情による仕入価格の上昇が続いているという。「盆月を迎えるが、新盆が少ないようで、盆向けの商材の注文が少ない」との声が聞かれた。

【青果卸売市場】

販売は前月比、前年比ともやや減少という。野菜は、「梅雨明けが遅れ、雨天の日が多かったために荷動きが全体的に非常に悪い。価格面は前年並みだが、販売量が前年を下回った」という。果実は、「主力の桃で、天候不順と遅霜の影響もあり、入荷量が昨年比に比べ4割ほど減少。これが響き全体の入荷量も大幅に減少した一方、価格は7%高に止まった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感が好転するには至らないとの声。先行きは弱含みという。

電化製品の売上は、前月比、前年比ともやや減少との声。「エアコン等の季節商品は、長梅雨の悪影響があったが、梅雨明け後大きく動き始めた。暑い日が続くようなので伸びに期待している」「貿易摩擦の影響もあるのか、工場関係の動きは去年より低迷」「設備や火災報知機など工事を伴う商材は好調」などの声が寄せられた。

家事用品卸の売上は、前月比、前年比ともにやや増加との声。「前月の反動もあるが、増税前に必ず必要なものを仕入れている様子」「天候が不順で殺虫剤等の売上は良くない」などの声。仕入に関し、「家庭紙の高級品が、依然間に合にくい」との声が聞かれた。

OA機器の売上は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声。「消費増税に向け、レジスター等の引合が出てきてはいるが、いかんせん単価が小さく、目下はあまり大きな金額にはなっていない」「来年のウィンドウズ7のサポート終了を控えパソコンの引合が増えているが、利益が確保しづらい上に、決済期日が早い」などの報が寄せられた。「本体の値上げもあるが、運賃、配送費が値上がり」など、仕入価格、経費が依然上昇基調にあるという。

衣料品の売上の前年比は、業者により増減分かれるが、景況感に大きな動きは見られない。「昨年より雨が多し、大型の案件はなかった」というものの、全体的に良かった」などの声が寄せられた。「10月以降、各メーカーが値上げを予定している」という。

土産物の売上は、前月比横ばい、景況感にも動きは見られない。当月も仕入価格が上昇基調にあるという。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比3%増加、前年比も23%増加。中古車も、前月比4%増加、前年比も30%増加している。6月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比10%増加、前年比も2%増加。中古車は、前月比12%減少も、前年比は5%増加。

サービス業

市内料理店の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「当月例年より涼しかったせいか、宴会の需要が焼肉店や居酒屋に流れなかったのではないか。夏場の暇な時期だが、前年に比べ売上が増えた理由を、そのくらいしか思いつかない」「天気が悪すぎた上に、消費増税が迫りお客様が使わないように思う。夜間のお客様が少ないし、引けが早い。家族連れも少ない。ただ、若いお客様が少し増えた」「景気は良くないので心配な面もあるが、食器の買換え、LED化など今後のための投資をしている」などの声が寄せられた。仕入に関し、「色々が値上がり。雨の影響か、アサリなど品薄」との声。雇用面で、「他業界で人材不足の声も聞いていたが、当店でもその傾向が少なからず現れてきた。人材を育てることを始め課題山積」との声が寄せられた。

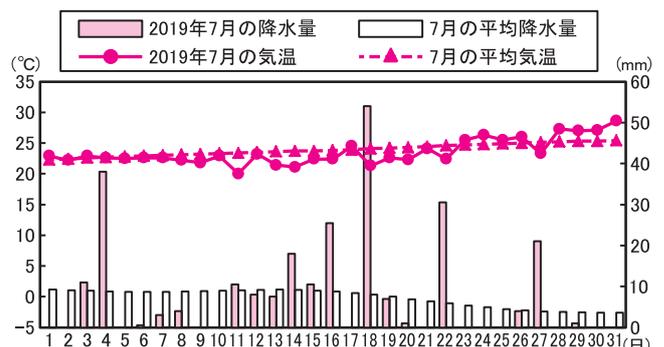
昼神温泉の売上は前年比やや減少。「夏休みに入り徐々に賑やかさが出たが、月前半が非常に静かだった」「週末の予約が少なかった上に、台風などでキャンセルが多かった」「ナイトツアー客は目に見えて減少しているのでは。天候の影響もあるが、予約などの利便性の低下もあるのでは。感動するもう一つの何かが必要な時期に来ているように思う」などの声が寄せられた。外国人インインターンシップに関し、「今回採用した皆さんはレベルが高い。語学力はかなりのもの。即戦力で人員不足対策になっている」との声が聞かれた。

タクシーの売上は、前月比増加も、前年比はやや減少、「依然夜間需要が伸び悩んでいる。消費増税と共に運賃改定が予定されている。今後の変化を注視して、しっかり対応したい」などの声が寄せられた。雇用面の不足は続いており「労働力の確保は大きな問題」という。「LPGは、若干ながら落ち着いてきた」との声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★目下のところ人員が少し余っており、人件費や保険料の負担感がある。
- ★新規事業が具体的に動き出す。
- ★設備投資を決めたが、建設業者が多忙で取り掛かりが遅れそう。
- ★消費税に関わる手続きなどが難しく、仕事量が増えてしまいそう。

飯田の気温と降水量



消費税の免税事業者にとって「インボイス制度」とは！

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
 中小企業支援アドバイザー 佐々木 信高

二度の延期を経た消費税が10月1日から10%に引き上げられます。同時に飲食料品や新聞等が8%に据え置かれる軽減税率制度もあわせて導入されます。テレビCMや新聞広告では、頻繁にレジ補助金（軽減税率対策補助金）の利用促進を呼びかけて該当する事業所に準備を促しています。さらに、国のキャッシュレス決済の導入を推進するポイント還元制度も実施予定で、複数税率だけでも理解するのに大変な小売店や飲食店では対応に苦慮していることと思います。

今回の税率引き上げには、複数の税率が併存することになり、請求書や領収書などの書類には、商品ごとに消費税率を明記しないと本体価格と消費税額が判らなくなってしまいます。そこで、「適用税率ごとに区分した消費税額の計算」や「商品ごとの適用税率およびその合計額を記載した請求書の発行」などの作業が出てきます。こうした作業をサポートするために

「複数税率対応レジや券売機の導入」
 「受発注システムの改修（一部終了）」
 「請求書管理システムの改修や導入」
 などを行う場合に、国が補助金を出して支援する制度がレジ補助金です。締切りも間近になってきていますので早めの対応が必要です。

さて、複数税率の導入やキャッシュレス導入の陰に隠れてしまい、意外と知らない大事なことがあります。

消費税の計算は、原則、課税売上に係る消費税額から課税仕入等に係る消費税額を控除して納付します。しかし、消費税率が8%と10%の2つになることから「売上げ」と「仕入れ」を税率ごとに区分しなければなりません。10月1日からの4年間は、事業者の準備等に配慮して現行の請求書等保存方式を維持しつつ、区分経理に対応した方法として区分記載請求書等保存方式とするとともに税額計算の特例を導入します。

さらに2023年10月以降は、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が

軽減税率制度導入に伴う請求額等の記載事項の追加

2つの消費税率を把握するために、請求書等の記載事項の追加が必要になります。2019年10月1日から2023年9月30日までは「区分記載請求書等保存方式」、2023年10月1日からは「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が実施されます。

1 現行の請求書 ～2019年9月30日



請求書 発行日：2018年4月25日

〇×食堂 様 〇〇ストアー
 東京都△△区△△街1-2-3 TEL:03-1234-xxxx

今回ご請求額 15,228円

お買い上げいただきましてありがとうございます。
 記載の通り、ご請求申し上げます。

日付	品目	税込価格
4/14	食料品	3,240
	雑貨	2,160
4/15	食料品	5,940
	雑貨	3,888
	合計	15,228

2 区分記載請求書 2019年10月1日 ～2023年9月30日



請求書の書式を
変更しなければ
いけない

※標準税率対象品のみ
を販売している場合は、
現在と同様の書式で対応
することも可能です。

請求書 発行日：2019年10月25日

〇×食堂 様 〇〇ストアー
 東京都△△区△△街1-2-3 TEL:03-1234-xxxx

今回ご請求額 15,340円

お買い上げいただきましてありがとうございます。
 記載の通り、ご請求申し上げます。

日付	品目	区分	税込価格
10/14	食料品	8%	3,240
	雑貨		4,200
10/15	食料品	8%	5,940
	雑貨		3,880
	10%税率対象合計		6,160
	8%税率対象合計		9,180
	合計		15,340

①軽減税率の対象品目である旨
 ②税率ごとに合計した対価の額

3 適格請求書 2023年10月1日～



登録番号の申請や
適格請求書の
準備が必要だ

請求書 発行日：2023年10月25日

〇×食堂 様 〇〇ストアー
 東京都△△区△△街1-2-3 TEL:03-1234-xxxx

今回ご請求額 15,340円

お買い上げいただきましてありがとうございます。
 記載の通り、ご請求申し上げます。

日付	品目	区分	本体価格	消費税額	合計
10/14	食料品	8%	3,000	240	3,240
	雑貨		2,000	200	2,200
10/15	食料品	8%	5,500	450	5,950
	雑貨		3,000	300	3,300
	合計		14,500	1,190	15,690
	10%税率対象合計		5,000	500	5,500
	8%税率対象合計		9,500	690	10,190
	合計		14,500	1,190	15,690

④税率ごとの消費税額
 ③登録番号

（日本商工会議所「消費税軽減税率制度と消費税転嫁対策」パンフレットより）

導入されます。インボイスとは、貿易取引の「送り状」のことを指します。消費税のインボイス制度は、複数税率の下では、帳簿による税額計算は大変困難です。そこで、8%と10%の税額が記載された「適格請求書」に基づいて申告・納税をする制度です。適格請求書を発行する事業者は、税務署へ事前の登録や届出が必要になります。また、登録事業者に対して税務署は、「登録事業者番号」を交付して適格請求書に記載して取引ごとに発行します。消費税の仕入税額控除計算は、適格請求書の保存が要件となって適格請求書以外の請求書の取引は仕入税額控除が出来ません。つまり登録事業者との取引でなければ仕入税額控除が出来ないことになります。

ここで大きな課題が出てきます。現行の消費税では、零細な事業者の事務や納税の負担を軽減するための免税制度があって、基準期間（2年前）の売上が1,000万円以下の場合、申告・納税が免除されています。現行は、免税事業者の発行した請求書でも仕入税額控除の対象になっていますが、4年後は、課税事業者が免税事業者から仕入をしても適格請求書の発行が無いと仕入控除ができないため取引を避けられる可能性があります。免税事業者は、取引排除は困りますから課税事業者として税務署へ登録して申告納税をしなくてはなりません。つまり免税事業者も限りなく消費税の課税事業者となる方向であるという事です。

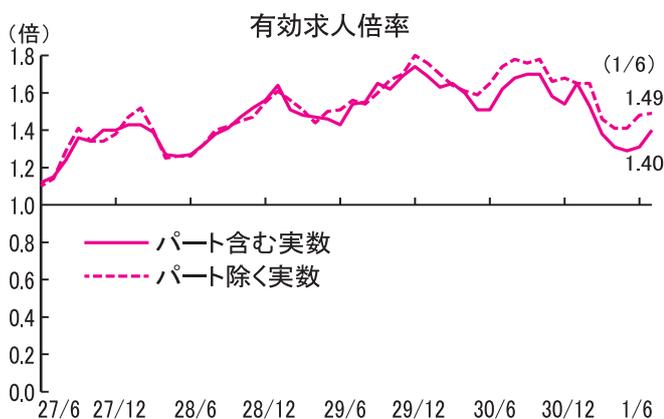
国税庁の調査では、免税事業者は個人・法人の事業所合わせて500万事業所といわれています。一部経過措置があるもののインボイス制が実施される2023年10月1日からは、登録事業者となって消費税の申告・納税を行うか判断をしなくてはなりません。4年間の経過をみて法改正もあるかもしれませんが、免税事業者として、今から準備はしておく必要があります。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

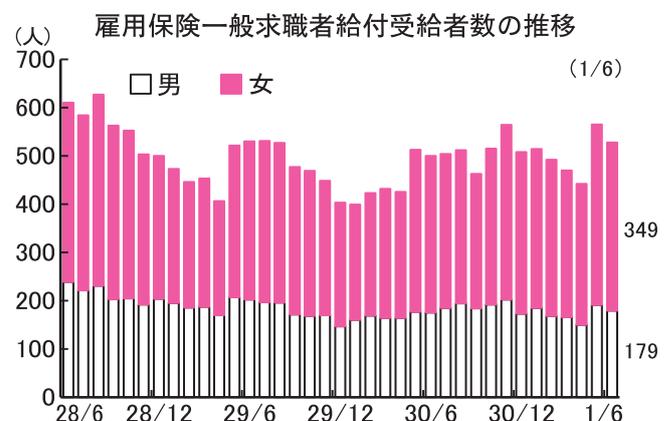
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 佐々木信高 は、商工会、商工会議所で地元中小企業の支援業務に長く携わった経験を基に、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



6月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.40倍と、前月から0.09ポイント上昇。パートを除く実数は1.49倍で、前月から0.01ポイント上昇している。



6月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は12人減少、女性も25人減少。全体では528人と前月から37人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

三遠南信地域交流たずねある記（3） 三・遠・南信を繋ぐ

県道1号線（飯田富山佐久間線）

～ 緑深い三遠南信地域を縦断～

県道1号線の名称は「飯田富山佐久間線」という。「富山」はあの「日本でいちばん人口の少ない村」と言われた富山村（平成の合併で豊根村となる）のこと、「佐久間」があの佐久間ダムのある佐久間町のことと知り、道路地図を見ると、県道1号線は愛知県でも「県道1号線」であり、静岡県でも同様であることが判る。これこそ三遠南信地域あるいは地域内交流のアイコン（象徴）と考え、この道を走ることにした。

■長野県内を愛知県境まで

飯田建設事務所によると、県道1号線の起点は飯田市下久堅919番地1。水神橋を渡り上久堅へ向かう国道256号線の南原方面へ分岐する丁字交差点がその地点となる。1号線は天竜川沿いを南下（次頁概略図参照）、飯田市龍江地区、同千代地区を通過し千泰大橋を渡って泰阜村へ入る。泰阜村内は、一部未改良部分があるものの、概ね改良が進み良好な道路状況である。県道は平成30年供用開始の飯田線立体交差で温田駅を通過し、南宮大橋により天龍川右岸へと渡る。

阿南町から天竜川に沿う県道1号線の通称は「湖岸道路」。平岡ダムの先の交差点で南信濃方面から来る国道418号線と合流する。418号線は、福井県大野市から関市、美濃加茂市、恵那市などを経て、県内では岐阜県上矢作町から平谷村へ入り、平谷峠、売木トンネルを通過して阿南町新野へ、天龍村平岡を經由して飯田市南信濃和田で国道152号との合流点で終点となる道路である。

県道1号線と国道418号線は天龍村神原まで重複部分で、道路地図の表示は国道481号となる。県道1号は天龍川右岸へ渡り、418号線と分岐して天竜川に沿い南下する。

■佐久間ダム湖に沿って静岡県へ

長野県道1号線の終点、天龍村神原1983番地1は針葉樹の林の中にひっそりと県境の看板があるのみ。ここからは愛知県道1号線の標識になる。



飯田市下久堅の県道1号線起点標識
奥左右が国道256号、手前方面へ県道1号線



長野県



愛知県



静岡県



長野県道1号線 終点（長野・愛知県県境）



飯田線大嵐駅と大原トンネル

暫く走ると、天竜川につり橋が架かり、大嵐駅^{おおぞれ}の案内看板がある。天竜川左岸は静岡県で一時的な越境となる。大嵐駅は、佐久間まで天竜川に沿っていた飯田線の線路が佐久間ダム建設で水没するため水窪へと線路を付け替えた際造られた大原トンネル（全長5,063 m 飯田線最長）の入り口の駅である。

大嵐駅はまた、旧富山村中心部へ向かう最寄駅だったという。右岸の愛知県へ戻り暫く行くと旧富山村役場などの村中心部へと至るが、大嵐駅からの徒歩となるとややきつい距離である。

旧富山村辺りから天竜川は川幅を広げ、水量が増えて佐久間ダム湖の様相を呈してくる。県道1号線は次第に建設関係の車両が増えて行き違いに神経を使うようになる。幾つかのトンネルを抜けると佐久間ダムのダムサイトが現れる。県道1号線は、ダムの天端が道路になって左岸へ渡るようになっており、これで1号線は静岡県道となる。

佐久間ダムを過ぎると浜松市天竜区佐久間地区の市街地へ入ってくる。静岡県道1号線は国道473号線と接続しその先天竜区浦川まで重複部分を通じるためか、現地の交差点には特別な標識等はなく素っ気無い扱いである。

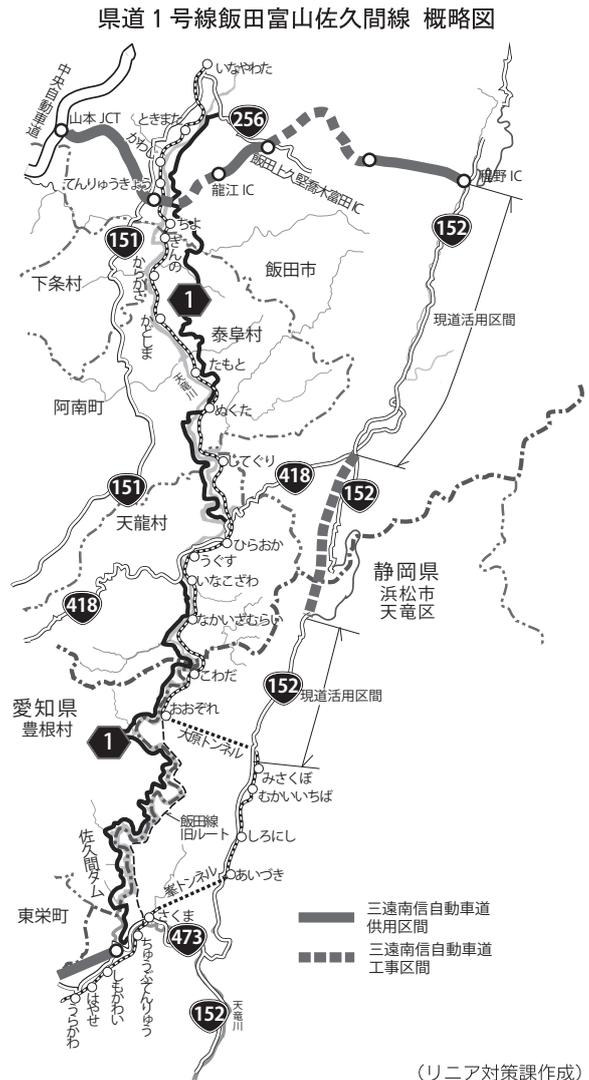
■ 飯田富山佐久間線の今後に向けては

県道1号線と天竜川対岸のJR飯田線は、厳しい自然条件の下、関係者により保全活動が取り組まれており、この日も道路関係の改修工事やJRの保線活動がみられた。

三遠南信地域内の交通は、国道151号・152号線の改良、そして待望する三遠南信自動車道に関心が向いている。県道1号線は、今後三遠南信地域内交流のメインルートとなることは難しいかもしれないが、かつての三遠南信地域内交流の歴史を窺うことができるルートである。また紅葉の時期に訪れてみたいと感じた県道1号線であった。



旧富山村中心部（豊根村富山地区）



佐久間ダム湖と県道1号線（右） ダムサイト天端を通行して静岡県へ



県道1号線・国道473号接続交差点

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)